

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年11月16日(2006.11.16)

【公表番号】特表2006-506169(P2006-506169A)

【公表日】平成18年2月23日(2006.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2006-008

【出願番号】特願2004-553462(P2004-553462)

【国際特許分類】

A 6 2 C 3/16 (2006.01)

E 0 4 B 1/94 (2006.01)

H 0 2 G 3/22 (2006.01)

【F I】

A 6 2 C 3/16 B

E 0 4 B 1/94 M

H 0 2 G 3/22 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月27日(2006.9.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

貫通部に火炎止めバリヤを作るための装置であって、

(a) 前記貫通部内に配列された支持機構と、

(b) 前記支持機構と移動可能に連結された第1の火炎止め材料と、

(c) 前記第1の火炎止め材料と前記貫通部の内面との間に配列された第2の火炎止め材料と、を含む装置。

【請求項2】

前記第1の火炎止め材料が、繰返し可能にかつ可逆的に、前記貫通部を通るアイテムの方に延在可能であり、かつ前記貫通部を通り離れて引っ込み可能であり、それにより、アイテムが前記貫通部に加えられるかアイテムが前記貫通部から除去されることを可能にする、ワンピースの火炎止め材料である、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

貫通部に火炎止めを設ける方法であって、

(a) 火炎止め材料を、前記貫通部の内壁面の少なくとも一部に固定する工程と、

(b) 前記貫通部の内壁面に固定された前記火炎止め材料内の貫通部に、火炎止め材料が移動可能に連結された支持機構を配列する工程と、

(c) 前記支持機構と連結された前記火炎止め材料を、前記貫通部を横切って延在させる工程と、を含む方法。